

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 081	提案機関名 JAかながわ西湘
要望問題名 冬季気象異常時のたまねぎのトウ立ち予防について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 本年、気象異常でたまねぎのトウ立ちが特に多くありました。 このような状況の場合、資材等での予防方法があれば今後の栽培において案内できると思 います。	
解決希望年限	1年以内 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	農業技術センター 畜産技術所 水産技術センター 自然環境保全センター
備 考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	野菜作物研究部
対応区分	実施 実施中 継続検討 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 調査指導対応 現地対応 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合)			
対応の内容等 タマネギは緑植物体春化型植物で、昨年のように12月初旬までは温暖で、それ以降低温に推移した気象条件では抽苔が増加する等、影響を大きく受ける作物です。気象が大きく変動する近年、これまでの気候条件を前提とした組み立てられた栽培体系について修正する必要性が生じつつあるものと考えられます。 今後、農研機構等から発表が予定されている気象変動の予測を収集するとともに、それに基づく本県の気象条件の変化を加味した栽培体系について情報を提供します。			
解決予定年限	1年以内 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内		
備 考			